

琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程学位論文審査基準

〔 令和 5年5月17日 〕
制 定

琉球大学大学院理工学研究科規程第19条第4項に基づき、理工学研究科博士前期課程における学位論文の成績評価に関しては、以下の各項目について審査し、その結果を基に総合的に判断して合否を決定する。

論文審査項目

1. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、当該研究領域における修士としての十分な知識を有し、問題を的確に把握しているとともに、それを解明する能力を身につけていること。
2. 論文の記述（本文、図、表、引用、文献表など）が十分かつ適切であり、結論に至るまでの首尾一貫した論理構成になっていること。
3. 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法が採用され、それに則って具体的な分析・考察がなされていること。
4. 当該研究領域の専門的見地から、独自の価値を有するものとなっていること。

なお、学位論文の審査と最終試験（内容説明・質疑応答による評価）の成績はそれぞれ合格・不合格で評価する。

学位論文： 合格 ・ 不合格

最終試験： 合格 ・ 不合格

附則（令和5年5月17日）

この基準は、令和5年5月17日から施行し、令和5年4月1日から適用する。